＼ 水田農業を営む生産者の皆様へ ／

直近の米の需給状況をお知らせします！

○　令和６年産の相対取引価格（令和７年１月時点の出回りからの年産平均）は、
「まっしぐら」で26,014円/60kg

○　全国の民間在庫量（令和６年１２月末）は、過去５年間で最低水準。

詳しくはこちら ☞
（農林水産省HP）

⇒　主食用米の需要の増加により相対取引価格は高値で推移しているものの、
急激に主食用米の作付が増加すると、再び**米価下落が起こるおそれ**があります。

国の需給見通しでは、
令和７年度の主食用米生産量は
令和６年度と同水準である
とされています。

米の取引価格は回復しているけど、
作りすぎると値崩れするかも
しれないのか…
じゃあ何を作るか考えないとなぁ

令和７年産の営農計画作成に当たっては、
どの作物を作付けすればよいか、
集出荷事業者等とよく相談しましょう！

【参考：水田活用の直接支払交付金の単価表】
※主な作物を抜粋

交付対象作物（水田）	農業者等への交付単価（10aあたり）
小麦	35,000円　～　47,000円
大豆	35,000円　～　59,000円
加工用米	20,000円　～　38,000円
飼料用米	55,000円　～　128,000円
新市場開拓用米（輸出用米等）	20,000円　～　49,000円

◆国の予算配分や取組む技術メニュー等に応じて、
交付単価が変動します。

その他の対象作物等、詳細についてはお問い合わせください。

令和７年２月２８日時点版

【問合せ先】弘前市農林部農政課農産係（電話：４０－０５０４）